



Interactive Training in Communication-Japan

II

Volume 41
February 2023


ITC-J Vol.41 No.2 February 2023

目 次


Table of Contents

今期のテーマ	1	2022-2023 Theme
ITC-J 会長メッセージ	2	President's Message
委員会からのメッセージ	3	Messages from Committees
カOUNSL第1回会合報告	4~7	Reports of Council Meetings
特集「プリズム」	8~9	Feature Article <<Prism>>
カOUNSL会長会報告	10~11	Comments on Council Presidents' Meeting
ITC-J 第41期 年次大会ご案内	12	Call to the 41st Annual Conference
日程一覧表	13	Conference at a Glance Jul 5-6
講演	14	Plenary Lecture
教育セッション A B	15	Educational Sessions A B
教育セッション C D	16	〃 C D
教育セッション E F	17	〃 E F
晩餐会エンターテインメントご案内	18	Banquet Entertainment
年次大会準備委員会 名簿	19	Members of Annual Conference Committee
観光ご案内	20~21	Sightseeing Jul 4
申込要領	22	Guidelines for Registration
申込書	23~24	Registration Forms
小林 令様を偲んで		Remembrance Ms. Rei Kobayashi
会員ログイン方法		How to Log in to Members' Site
編集後記		Editor's Message
ITC-J 宣誓 声明文		ITC-J Pledge & Mission Statement

ITC-J 第41期テーマ
2022 - 2023



柔軟な思考と発想で
新しいエポックを



ITC-J会長メッセージ



ITC-J 第41期会長 佐野 千賀子

会長のお役を始めてから半年がすぎました。Zoomの時代ですからJ役員会だけではなく、Jの委員会やカウンスル会合に可能な限り参加させていただきました。長いITC-Jの経験の中で最もたくさんの会員の方にお目にかかりました。いろいろな場面で、あるいはいろいろな方とお話をしてたくさん学ばせていただいています。

私自身、若い時には自分の能力を高めることがITCに主に期待したことでしたが、この年になりますと、この会のすばらしさはクラブがITC-Jという組織の一つであるからこそ、活動の輪が広がり勉強の場も多様になるのだと認識を新たにしております。

自分の能力を高めることだけが目的なら、図書館などで一人で勉強できますし、指導者に教えてもらいながら進歩を図る場は世にたくさんあります。でもITC-Jのように仲間と共に成長していく会というのはあまりないのではないかと思います。与えるだけの人もいませんし、もらうだけの人もいません。お互いに刺激をしあって、ともに楽しみながら自分や仲間の成長を求めていく組織のすばらしさをあらためて気づかされています。

ITC-Jは、クラブに留まらずに上のレベルの仕事をすることで、勉強の場も増え、知人の輪も増え、楽しく少しずつ進歩させてくれる組織だということを実感しています。

皆さまは、カウンスル会合や、年次大会など大きなイベントもコロナの時以外には毎年会員の力だけで企画運営してきたものすごい組織だということを意識なさったことはありますか。今期も7月の年次大会に向けて実にたくさんの会員が、いろいろな仕事を分担して進めてくださっています。大勢の人が関わらなくてはできないことですから意見の違いはあるかもしれませんが、意見の交換を大事にし、最終決定は多数決でという原則の下にやっていけば、忙しい活動も楽しめるのではないかと思います。

久しぶりに東京での大会です。

たくさんの会員の皆さまにお会いできることを期待しております。

委員会からのメッセージ

プログラム・教育委員会

委員長 後藤 英子

年次大会は会員が一堂に会し、多くの仲間と交流し、共に学び、共に考える一年に一度の貴重な機会です。プログラム・教育委員会は皆様に満足していただけるようにと心を合わせて、脳研究の第一人者である池谷裕二先生の講演と魅力的な教育セッション6部門を企画し、準備しています。どうぞご期待ください。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

スピーチコンテスト委員会

委員長 代田有祐美

ITC-J第41期「スピーチコンテストの規則と任務」に則り各クラブ、各カウンスルのスピーチコンテストを行ってください。1年に一度のITC-J最大イベントです。日頃、大勢の前で話すことが少ない会員にとって緊張感ある素晴らしい体験だと思います。コンテストは、各レベルから選ばれたスピーカー、聴衆、お役担当者、ご参加いただいた皆様に感動を与える事と思います。

会員数減少傾向にもかかわらず、少人数クラブでも工夫を凝らしてクラブの代表を選考されています。各スピーチコンテスト委員会と連絡を取り年次大会の決勝コンテストの準備に取り組んでいます。委員会は一丸となり細心の気配りで務めてまいります。皆様のご参加、お会いできるのを楽しみにしております。

教育資料委員会

委員長 松下 忍

「資料 “み~つけた”」

皆様はどんな時にウェブサイトの【資料】をお訪ねになりますか。カウンスルやクラブのアサインメントの準備に役立てるためにでしょうか。たまにはお時間が有り、ゆっくりなされた時【資料】をご覧になってみてください。 案外この複雑な社会で有益に生きるためのヒントが見つかるかも知れないのです。其々の方の“資料み~つけた”を願っております。

国際交流委員会

委員長 杉谷 和代

Global communication is back to ITC-J !

今期のITC-J役員会は国際交流委員会を常任委員会として復活させ、委員長に任命された私は、年次大会で海外とZoomで教育セッションを実施する企画を依頼された。その準備段階として、クラブのプログラムでの国際的な活動を検討した結果、11月例会において、現在もPowerTalkとして活動を継続しているオーストラリア、ニュージーランド、オランダの元ITC会員達とJoint Meetingを企画した。Margaret Sutherland元国際会長のサポートによりイースト神戸クラブは念願のグローバルな例会を実現することができた。プログラムの内容については両グループ（海外 7名、EKC6名）の共同作業により満足なものだったが、テクノロジーの面ではおおむね順調に運んだものの今後の反省課題は残った。しかし、Global Communicationを拡張していくことができる手ごたえを感じているので、例会でトライを重ね技術的な課題をクリアして、今期の年次大会では、海外の元ITC会員たちも望んでいる国際的な、そしてErnestine White ITC創始者の意図する世界の相互理解につながる交流に発展するようなワークショップを行いたいと思っています。



カウンスル第1回会合報告

カウンスル No.1

第一副会長 伊藤 容子

2022年10月31日（月）、名古屋東急ホテルにて、会員83名、ゲスト8名、合計91名の出席者で開催いたしました。

午後からのプログラムでは、『今、知っておくべきこと…』として、3人の講師をお迎えし、3つのテーマ「地球温暖化：齊藤清氏（日本気象予報士、東海支部）」、「食品ロス：松岡篤史氏（認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋、理事）」、「危機管理：古屋弓子氏（錦クラブ会員）」についてお話をお聴きし、その後、卓毎（14卓）でディスカッション、積極的な意見・感想の交換、卓発表、講演者への質疑応答を行いました。〈人といろいろな意見を交わすこと、聞くことで、学びがより深まる〉ことを実感しました。



「危機管理：古屋弓子氏（錦クラブ会員）」についてお話をお聴きし、その後、卓毎（14卓）でディスカッション、積極的な意見・感想の交換、卓発表、講演者への質疑応答を行いました。〈人といろいろな意見を交わすこと、聞くことで、学びがより深まる〉ことを実感しました。

今期のプログラムは“学びの先に…”をテーマにしていますが、学ぶ仲間（ITC-J会員）の存在と、学びの先にある豊かな楽しみを感じる充実した会合となりました。

カウンスル No.2

第一副会長 筆本美智子

カウンスルNo.2は11月14日（月）に三田地里穂講師をお迎えして「誰も知らない私・わたし・私」～30秒・30秒・45秒からの出発～のスピーチワークショップを行いました。参加者72人の多くが参加して、印象に残る自己紹介から始め、ITC-J会員はそれぞれ個性ある聴衆を楽しませる自己紹介を行いました。くじで引いた番号がいつ当たるかわからずドキドキしながら、会合2週間前と当日課題に講師の指示した30秒スピーチを行いました。課題の解釈に講師の意図とは違ったものもあり、戸惑いつつもワークショップならではの生き生きとした発言が続きました。最後は「人生のやり残し」のタイトルで、イントロダクション・テーマセンテンス（伝えたいこと）・理由（なぜならば）・展望（ビジョン）・結論を述べるとスピーチが完成することを学びました。



カウンスル第1回会合報告

カウンスル No.3

第一副会長 津田 由貴

カウンスルNo.3第1回会合は、11月29日神戸ポートピアホテルに於いて開催され、74名の参加者と共に有意義な一日を過ごした。

プログラムは「私たちとSDGs We Must!!」をテーマに7クラブが趣向を凝らしたプレゼンテーションを行った。生活の中で今すぐに出ることのアイデア、海洋国であり森林国である日本の脱炭素の可能性、健康長寿社会の実現、生産者の知恵と工夫、教育の未来など、バラエティーに富んだ内容とユニークな発表方法で繰り広げられ、会場は大いに盛り上がった。



全員で行ったディスカッションでは、世界の潮流に対し意識を高く持つこと、私たちの努力は小さくても皆で持続すれば大きな力となることなど、多くの意見が出て、皆さんのSDGsに対する関心は高く、大きな手応えを感じた。

カウンスル No.4

第一副会長 渡辺 遙子

年間テーマ「窓を開けて」・会合テーマ「共有する」2022年10月31日 13:30～15:30 各自宅において、コロナウイルスの感染状況を考慮してZoomオンライン会合を開催いたしました。

来賓として佐野千賀子会長他2名の役員、および山口久美子年次大会準備委員長のご出席をいただきました。

プログラムは、ブックレビュー（グループワーク）です。ブレイクアウトルームは各部屋（グループ15室、各室4人～6人）に分かれて入室し、グループリーダー進行の下に「お薦めの本」のブックレビューを行い、ブレイクアウトルーム終了後、2名にブックレビューの発表と、グループリーダー2名に感想の発表をしていただき、和気あいあいとオンライン会合は行われました。



カウンスル第1回会合報告

カウンスル No.5

第一副会長 島津 京子

3年ぶりの対面会合で出席数が心配でした。

嬉しいことに88名の出席をいただき感謝につきます。今回の会合は「全員参加型」にこだわりました。プログラムにコミュニケーションを具体的に表現した「あなたならどうする？」のタイトルで教育資料「IメッセージYouメッセージ」からワークショップを行いました。

出席者を14テーブルに配置し、各テーブルに相手を責めるYouメッセージセリフを配付後、相手を気遣うIメッセージをディスカッションし、出来上がった順にテーブル代表の2名が壇上で演じました。日常生活に起こりがちな場面設定は多岐に亘り、演者のロールプ



レイにフロアーが笑いの渦につつまれ、全員参加の一体感を得られたプログラムができました。No.5のパワーを感じる会合となり、ご協力いただきました会員の皆様に感謝致します。



カウンスル No.6

副会長 水田登茂子

京都の紅葉シーズンがピークを迎えた11月22日、京都二条城前の全日空ホテルでカウンスルNo.6第35期第1回会合が開催されました。

カウンスルNo.6は3クラブをワンチームと考え、プログラムは全員が主役に、各自が達成感を満たすようにと考えています。

会合ではビジネスの後、深沢克己先生の講演「学びの道・人の縁」は映像をつかって密輸更紗の発見から更紗の学の道、それに携わった人の縁とヨーロッパの発展について意義深いお話をお聞きしました。



次の平岡隆一先生の講演「究極のコーディネート」は1960年代からのファッション界の流れをお聞きし、No.6会員総出演のショーでは帽子やスカーフの小物で小変身、もう一人の自分を発見できたような不思議な気持ちになり幸せ感をいただきました。

ゲストの方々から温かい応援をいただき、全会員明るく楽しい会合となりました。



カウンスル第1回会合報告

カウンスル No.7

第一副会長 廣田 花江

第1回会合35周年記念会合は、11月17日（木）出雲ロイヤルホテルに於いて、来賓12名一般ゲスト12名を迎え計89名が集い、開催された。ビジネスでは、後藤英子公式訪問者のITC-Jインフォメーションをはじめ各種報告があり、指名委員選挙、会則修正案の審議が執り行われた。そして山口久美子大会準備委員長のITC-J年次大会案内と続いた。祝宴では、丸山達也鳥根県知事・飯塚俊之出雲市長の祝辞、佐野千賀子ITC-J第41期会長



に乾杯のご発声をいただき、晴れやかに、和やかに、対面での親交を深めることが出来た。午後からは、米子水鳥公園ネイチャーセンター館長 神谷要様より、「私たちは水鳥だけでなくゴミでもつながっている!？」と題しての講演があり、SDGs17の目標、未来のため今私たちにできることを共に考える機会を得た。その後、35周年の節目を迎えるにあたり、第30期から第34期の会長から、ITC-Jの未来像をテーマにしたメッセージが語られると、会場から惜しめない拍手が沸き起こった。コロナ禍でのカウンスル運営の労をねぎらい、5人の元会長へ花束を贈り、感謝の意を表した。

カウンスル No.8

第一副会長 林 栄子

秋晴れの文化の日、東京ウィメンズプラザに会員、ゲスト総数59名の参加をいただき第1回会合が執り行われました。プログラムは、香道御家流二十三世ご宗家三條西堯水様の講演「香りを楽しむ芸道」に次いで「聞香」「二柱」佐曾羅と伽羅（夜半の月）が手厚い準備により素晴らしい香りを届けていただき会場からは、「私、お姫さまになったような気分」などと感嘆する声が上がりました。一方で、ご宗家におかれましては本会スタートから熱心に見守ってくださいました。ご講義に対する会員からの質問が続いたことや初めて聞いたお香の香りに感激した会員の反応に



ご自身がお喜びのご様子でした。

笑顔満載の中プログラムは「香満ちました。」



特集 「プリズム」～会員のスキルアップ～

No.2 神戸クラブ



神戸クラブ会長 深澤佳代子

神戸クラブは前期で50周年を迎えました。

昔は外国人も含め30名近くいましたが長い年月の間、会員は減少、仕事の都合や高齢のために退会され前期から4名となってしまいました。

4人の会員で役職も例会のアサインメントもすべて兼任です。

コロナ禍で前期はZoomによる例会でした。スピーチは毎回全員がします。Topic Timeも1分間のスピーチをするので1人が話す機会はたくさんあります。前期の50期は歴史を振り返り1980年代からのテーマをピックアップして毎月のテーマにしました。教育では過去の神戸クラブの活動を思い出し英語クラブだからこそ参加した世界大会の話は盛り上がりました。

意見は皆ですぐにまとまり力強く前に進めます。

これも英語クラブの長い歴史の中で考え進めて来たからこそやり続けていけるものだと思っています。

先日の12月例会はITC元会員を数人ゲストに迎えました。

Welcome Back to Kobe Club!

ITCを熟知した元会員が再び戻ってきてくれることを期待してやみません。

No.2 六甲クラブ



六甲クラブ会長 中村 記子

この2～3年に次々と退会者があり前年度会員数6名という少人数で活動いたしましたが、期末には若手3名が連れ立って退会されました。

今年度は3名かと思っていましたが元会員1名が再入会され4名で発足することができました。ITCからITC-Jと沢山の会員皆様との出会い、そして色々と学びました。その中で最もものはコミュニケーションだったはずだったのがそのコミュニケーションがとれず次々と退会され断腸の思いをいたしました。Zoom例会ではコミュニケーションもとりにくく対面例会が望ましく思いますがこの2～3年のコロナ禍のため対面のクラブ例会すらままならない昨今です。

新入会員を求め元会員にもお声かけいたしていますが、なかなか入会には至りません。

高齢者ばかりの会員ですが40年近く学んできたことを再認識し気持ちも新たに「教育マニュアル」にもとづいて学んで行こうと張り切っています。

No.5 豊中クラブ



豊中クラブ会長 小田 和子

5名の会員全て役員である利点は、リモート役員会で十分な検討を重ねることで例会議事運営がスムーズに進むことです。プログラムは学びと充実の時間を楽しんでいます。役員任務の上に、PL、モデレータ、スピーカー、タイマー、総評など約3役は持たねばならない実状から、プログラムに大まかなタイムを付け軽減を図っています。プログラム企画は全員からの案で決め、教育は都度の例会時期に関連する内容を担当者が任意で行う様に工夫。カウンスル会則修正案の審議依頼時には、ロバート議事法の箇所を学び賛否を正確に判断できる有効的な教育を受けました。全員歴30年前後の経験豊かな会員のため、智慧を出しながらの例会活動には問題は有りませんが、後期高齢期を迎えて負担がかかることを考慮、「柔軟な視野で」をテーマに、初体験の少数クラブ運営に挑戦中のため、今は会員維持を目標に運営基盤の基礎作りに集中、増員への意識が持てればと思っています。

カウンスルNo.6



カウンスル会長 西田富美子

カウンスルNo.6は18名の会員構成です。

70代～80代が13名 30代～60代が5名となっています。加齢学では人生100年時代高齢者は英知を備えた社会的に役立つ人材と社会教育者の言に前向きになり30代～60代の会員は社会的に有能な旗手として活躍中です。

毎月の例会はワンチームとして3クラブ合同例会、事務会議は各クラブ独自、プログラムを共有しています。課題として年間プログラム「私の好きな漢字一文字」90秒スピーチを実践しています。その目的と意味を会員は把握しています。

カウンスルの問題点は新入会員の為の教育に時間を投入していない現状で、反省点です。

更に実践を通して会員個々のスキルアップを目指したいと考えています。

会員増強に向けて「1週間に1度5分間ITC-Jを語る」を呼びかけています。

カウンスルNo.6は組織運営に苦しいものを抱えています。

素晴らしいITC-J組織活動を京都から失っては勿体ないとの想いです

No.6 琵琶湖クラブ



琵琶湖クラブ会長 松下 唯夫

今期のテーマ“閾値を振り返る”。閾値は学問的用語です。

「自然と人と健康」には密接な関係があります。

炊き立てのご飯に少しの塩をふり軽く握ったおにぎりを、よく噛んで「おとうさんありがとう」

(10回)「おかあさんありがとう」(10回)「みなさんにありがとう」(10回) 合計30回よく噛ん

でいただくと「感謝の心」に満たされ「美味しく」、これまで食べたおにぎりより美味しかった…との小学5年生の調理実習の報告があります。

2020年、琵琶湖クラブ例会に参加、「自然と人と健康」について共に学ぶ機会が与えられITC-J活動に関心と感謝を抱きました。

いろいろ多忙のため参加できる機会は限られますが、心はいつも応援しています。

No.8 葦崎クラブ



葦崎クラブ会長 清水 享子

葦崎クラブは、会員5名、年齢差5歳の同世代の会員ですが、少人数のメリットは、例会に欠席者を出さないため、一人でも都合が悪い会員がいれば、細則の一時停止をして全員が出席できる日に変更しています。

ZoomやPowerPointの資料作りなどの新たなスキルについても、会員が講師となって役員会、例会の開催日以外の日でも、全員が理解できるまで何度も講習会を開催し、パソコン操作の苦手だった私たちもなんとか克服することができました。少人数だからこそ「誰も取り残さない」目配りが行き届いているクラブだと自負しております。

9月例会のプログラムでは手話を学んでいる会員がいたことから、手話通訳士の講師をお招きして「手話」について学び、今まで知らなかった、意識しなかった当たり前のことを識ることができました。

これからも会員が持てる知識を出し惜しみすることなく、プログラムに結び付けながら会員の向上心と好奇心を開花させていきたいと思えます。

特集「プリズム」について

様々な地域で、様々なクラブが「会員数の維持と増強」にむけて取り組んでいる中、シリーズ2号は「会員のスキルアップ」として、会員数の少ないクラブに例会運営の工夫に取り組んでいる様子をお尋ねしてみました。少ない人数だからこそその運営やプログラムの工夫、意気込みを通して一人も取り残さない思いが伝わってきました。全てのクラブにパワーが伝わるものと思っております。



カウンスル会長会報告



カウンスルNo.1

会長 中村 千織

各カウンスル会長の現状報告また問題提起は、他のカウンスルにも共通する事柄を含んでおり、共感を持って聞くことができました。カウンスル会長の率直な発言に対して、役員の方々の親身にかつ指導力を持った助言は、心強くカウンスル運営の大きな支えとなる筈です。

願うならば期が終わる頃、今回提起された問題が、どのように解決されたのか、あるいは解決できなかったのか等の経過をお知らせいただければ、次期に向けての参考として引き継ぐことができるのではと思いつつ帰途につきました。

カウンスルNo.2

会長 善塔 貴美子

去る12月3日カウンスルNo.1からNo.8の全会長が集い京都で会長会が開催されそれぞれの現状と活動、悩みなど話合いましたが、どのカウンスル、クラブも会員減少のことは共通していました。カウンスルごとに特徴があり、クラブ間の交流もそれぞれしている。それがカウンスルであり、役割であると改めて思い、佐野会長の「会則は守るがあとは自由に」という言葉に共感いたしました。ITC-Jは教育機関なので例会のビジネスや新入会員には教育するシステムが大事という事を確認し、皆でお会いできたことを喜び合いました。

カウンスルNo.3

会長 山崎 直美

参加の皆様と比べITC-J歴の短い私には、とても有意義な時を過ごさせていただきありがとうございました。各カウンスルの諸問題などをお聞きする中で、やはり会員減少・獲得が一番の問題点です。No.3では前期より会員獲得のための特別委員会として未来プロジェクト委員会を立ち上げ活動しており、ITC-Jとはこんな組織ですと「フレンドシップミーティング」と題し細かく、丁寧に外部の方に紹介しております。(新会員2名入会) 今後はより一層、プログラムを充実し、メンター制度を復活し、会員減少を防ぐために一人一人のコミュニケーションを大切にしていきたいと思っております。

カウンスルNo.4

会長 村上 洋子

会長会のご案内をいただき、ドキドキしながら京都に参りました。

カウンスルNo.4だけが第1回会合をZoom開催いたしましたので、その報告、クラブ会長会の報告、および、カウンスルに起こりました問題についても報告させていただきました。ITC-J役員や他カウンスル会長の皆様から、適格な助言や温かい励ましをいただき、とても有難く有意義な一日でした。

カウンスルNo.5

会長 橋本 榮子

No.5は、今期3年ぶりに対面での第1回会合が実現し、プログラムも好評で充実した会合になりました。

問題点としては会員の高齢化と減少ですが、他カウンスルと共通する点については、連携し情報交換をしながら今後の活動を進めてまいります。他に、新会員へのメンタリングの必要性と、多様性を受け入れる事の大切さです。

この度の会長会では、他カウンスル会長の皆様が、懸命に自カウンスルの事を考え取り組んでおられる姿勢に触れ、又一緒に問題点について考えご意見を頂き、意義ある時間を過ごす事が出来ました。有難うございました。

カウンスルNo.6

会長 西田富美子

京都御所蛤御門前ホテルにて開催されました会長会は、有意義で楽しい会合でした。

各カウンスルの特徴と、問題点を拝聴、J役員の方々と忌憚のない意見交換。カウンスル活動を確実に形に映し前進されている現状をお聴きして啓発されました。

「クラブは教育の場」「新入会員のための教育」「方向性の確立」三つのキーワードを会合中に覚えました。ITC-Jの会員である喜びを感じ、自己研鑽に励みたいと思いました。充実した会合でした。

カウンスルNo.7

会長 野津 寛美

各カウンスルの会長は、それぞれのカウンスルに合った特徴ある運営に取り組まれており、優れた点、工夫している事や問題点を率直に話されました。社会への発信、貢献等多くの知恵をいただきました。

No.7も会員減少が止まりません「現在のように平日の日中での例会では、仕事を持っている若い人は、入会しにくいのではないかと発想の転換をして時間とお金に余裕があり、元気な定年後の人を勧誘したらどうか」というご意見には、時代に応じた柔軟な考えも必要だと感じました。

カウンスルNo.8

会長 饗場 嗣祈子

始終和やかな雰囲気での会食は、普段顔を合わせる機会の少ないITC-J役員と各カウンスル会長間の良い交流の場となりました。続いての会議では各カウンスルの状況報告や問題点等活発に意見が交わされました。会員減少と高齢化は各カウンスル共通の悩みですが、老若男女問わず学ぶ意欲と時間的余裕のある方々の入会が望ましく、新入会員へのメンターの重要性が話されました。ITC-J会長の「間違えることを恐れず、そこから学び取る事」「会則を守る事が大切」との言葉が心に残りました。対面で行われた有意義な会長会でした。





ITC-J第41期年次大会ご案内

大会テーマ

「仲間がいてこそ」

開催日：2023年7月5日(水)・6日(木)

会 場：ホテルイースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽6-3-3

TEL：03-5683-5683 (代表)



大会準備委員長

山口久美子 (No.8 葦崎)

大会準備副委員長

市橋 和子 (No.8 東京)

ITC-J第41期年次大会は、昔ながらの江戸情緒と近代日本を代表する東京で開催いたします。年に一度、全国のITC-J会員が一堂に会し、再会を喜び、興味深い魅力的な講演会やプログラムに参加し語り合う場は、かけがえのない機会となります。

顔を合わせて話をすれば心合わせができます。そして、交流することで、ITC-Jを支えていく力合わせとなります。まさに大会テーマ「仲間がいてこそ」です。

会員同士の絆を深め、共に学び、笑顔の絶えない大会になりますよう各委員会は、準備を進めております。

大会前日の7月4日は、貸切バスにて、迎賓館・赤坂離宮を見学した後、東京湾の夜景を眺めながら屋形船で粋な船遊びを計画しています。

晩餐会では、役員就任式に続いてのエンターテインメントは、ヴァイオリンと箏の洋と和の二重奏で、寛ぎのひとつときをお楽しみください。

元気いっぱい・笑顔いっぱいの大会準備委員会は、安心・安全を第一にして、心より皆様のご出席をお待ちしております。

ホテルへのご案内

会報誌IのP7をご覧ください。会員の皆様に事前に配布した「ホテル周辺見どころMAP」をご覧ください。最寄り駅からタクシーのご利用をお勧めします。

ITC-J 第41期 年次大会日程一覧表

ITC-J Annual Conference 2023 Time Schedule

大会1日目 7月5日(水) Day 1 July 5th (Wed.)

8:30～ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
	会員登録受付	Registration for Members
9:00～ 9:40	派遣員説明会	Briefing for Delegates
10:00	入場・開会式	Opening Ceremony
10:30～12:10	議事会議・選挙	Business Session・Election
12:20～13:10	昼食	Lunch
12:30～13:20	会員・ゲスト登録受付	Registration for Members & Guests
13:20～14:40	講演	Plenary Lecture
15:00～16:30	スピーチコンテスト(英語)	Speech Contest (English)
17:30～18:00	晩餐会受付	Registration for Banquet
18:00	晩餐会開会	Opening
	挨拶・祝辞	Greetings・Congratulatory Addresses
	表彰	Commendation
	就任式	Installation
	エンターテインメント	Entertainment
21:00	閉会	Adjournment

大会2日目 7月6日(木) Day 2 July 6th (Thu.)

8:30～ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
	会員・ゲスト登録受付	Registration for Members & Guests
9:00～10:15	議事会議	Business Session
10:30～12:00	教育セッション(6部門)	6 Educational Sessions
12:10～13:00	昼食	Lunch
13:10～15:10	スピーチコンテスト(日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:10～15:30	次回予告・クロージングソート	Invitation to the Next Conference・Closing Thought
15:30	閉会式	Closing Ceremony
15:50～17:20	CMT	CMT

ITC-J第41期年次大会 プログラムご案内



講演

2023年7月5日 13:20~14:40

講師：池谷 裕二氏
東京大学薬学部教授

演題：「脳を知って、脳を活かす」

脳を使いこなすコツには、脳のしくみを知っておくことです。がむしゃらに酷使するだけでは、脳はうまく作動してくれません。では、脳にはどんな性質がそなわっているのでしょうか。その性質をどう活用したら脳は効率的に作動してくれるのでしょうか。講演ではそんな問いについて皆で考えながら、日常生活やビジネスの現場に最新の脳科学の知見をどう活かすことができるかを、できるだけわかりやすく紹介します。

プロフィール

1970年生まれ。1998年に東京大学にて薬学博士号を取得。2002~2005年にコロンビア大学(米ニューヨーク)に留学をはさみ、2014年より現職(東京大学薬学部教授)。専門分野は神経生理学で、脳の健康について探究している。また、2018年よりERATO脳AI融合プロジェクトの代表を務め、AIチップの脳移植によって新たな知能の開拓を目指している。文部科学大臣表彰 若手科学者賞(2008年)、日本学術振興会賞(2013年)、日本学士院学術奨励賞(2013年)などを受賞。著書に『海馬』『記憶力を強くする』『進化しすぎた脳』などがある。

教育セッション一覧

A 組織も家庭も、悩みごとまで、ほめて解決！ ～ほめる達人セミナー～



日本ほめる達人協会
専務理事・特別認定講師

松本 秀男氏

プロフィール

歌手さだまさし氏の事務所で8年半、制作担当マネージャーなどで活躍。その後家業のガソリンスタンド経営を経て、45歳で入社した外資損害保険会社でトップ営業、また経営企画部マネージャーとして会社を大変革、社長賞を受賞。そうしたさまざまな経験を活かし、現在は「ほめる達人」として企業の活性化や子育てなどの研修・講演活動で活躍中。

NHKニュース「おはよう日本」や、TBS「ザワつく！」など、メディア出演も多数。

セッション内容

コロナやデジタル化で、コミュニケーションの質があらためて問われる今、「ほめる」というキーワードが注目されています。職場でも家庭でも、今日からすぐに使えて、驚くほどに嬉しい変化が起こる「ほめ達」とは？

ほめ達はお世辞やおだての達人ではありません。まして、ほめるを相手のコントロールに使ってはいけないとしています。一見「当たり前」に思えてしまう相手の行動に価値を見つけ出して、ねぎらったり応援したり喜んであげられる人、それがほめ達です。

何より、相手のいい所を探そうとすると自分の心に余裕が生まれます。そして自分の人間力がアップします。相手を輝かせ自分も輝く、それがほめ達、ほめる達人という生き方なのです。

B 他人を惹きつける話し方は落語にあり



落語家

三遊亭 あら馬氏

プロフィール

1977年鹿児島市生まれ

鹿児島大学工学部応用化学工学科卒業

大学時代にラジオDJ・ミス鹿児島ファイナリストなど経験

都内コンサル会社に入社するもフリーアナウンサーに転向。

2004年三宅裕司主宰劇団SETを経て舞台女優へ。名古屋市で結婚出産を機に引退するも司会業から再発進。2011年アナウンサー活動のリハビリと同所の落語教室で落語に出会う。2017年正式入門、2021年二ツ目昇進。同年余命宣告からの肝臓移植後2ヶ月で高座復帰。PTA会長4期・連合会長経験から落語会の他、講演会など全国行脚中。

セッション内容

難病胆道閉鎖症を抱えて生まれてきて、常に余命宣告と闘う中で必要だったものは「私は生きている。」「ここに存在しているんだ。」という根底にあるアピール欲。アナウンサー、女優、PTA連合会長を務めてみるも、そこでも発散出来なかった理由は、「他人にこうしろ」「ああしろ！」と演出されることによるつまらなさ。落語の世界は常に1人。高座の上では間違いもリカバリーして自己演出、自己責任。面白くするかお涙頂戴するか自由自在。話している落語家の経験や人柄が出るのも落語ならではの。水を得た魚となったあら馬が、落語を通して自由に臆せず、面白く？人前で話せる方法を提案します。

C 「歌舞伎を楽しもう！」誰でもわかる歌舞伎のあれこれ



歌舞伎座舞台株式会社顧問
元歌舞伎座支配人
金田 栄一氏

プロフィール

昭和24年、東京生まれ。立教大学社会学部卒、松竹株式会社に入社し、主に歌舞伎座に勤務。平成10年～15年、歌舞伎座支配人。その後、伝統文化放送（歌舞伎チャンネル）代表取締役社長、歌舞伎座舞台株式会社代表取締役社長を歴任。現在は中央区民カレッジ、よみうり文化センターをはじめ、各種カルチャー・講座などで歌舞伎の楽しさを伝える講師を勤める。平成28年、NHKラジオ講座「ころをよむ～これが歌舞伎だ！」を担当。令和2年度、文化庁長官表彰を受ける。

セッション内容

歌舞伎は江戸時代の庶民が創り上げた最高のエンターテインメント。そこには優れた色彩感覚や洒落に富んだ言葉遊びなど、日本人が持つ粋なセンスがいっぱい詰まっています。ですから歌舞伎を見れば日本人が培ってきた感性の素晴らしさが見て取れます。そしてその主役は何といても個性豊かな役者たち。歌舞伎はあくまでも役者中心の芸能ですから、その舞台を作品として評価し理屈で解釈するのではなく、役者の美しさや格好良さをパフォーマンスとして肌で味わいましょう。また歌舞伎ならではのビジュアルといえば隈取、その手法はCGやアニメを数百年も先取りしたアイデアの結晶、そして七五調で繰り広げられる名せりふの数々…歌舞伎の楽しさは尽きるところがありません。

D 発酵マジック



錦クラブ会員
古屋 弓子氏

プロフィール

ITC-J歴 30年
発酵文化推進機構「発酵の学校」第一期卒業生
発酵ソムリエ
生ゴミで家庭菜園を耕して30年以上の自称ぐうたら農婦

セッション内容

生活のあらゆる場面で『発酵』の文字を見かけるようになりました。食べ物だけでなく、化粧品から生ゴミ処理まで、まるで生活の中の魔法の杖のように崇められています。発酵はしかし、腐敗と表裏一体です。発酵と腐敗は、人間が定義した区別に過ぎません。言葉を変えれば一歩間違えば人に危害を加えるものにもなり得ます。その取扱いの難しい発酵を、生活に取り入れてきた、人間の知恵と経験について一歩踏み込んでみませんか。これまで何気なく見過ごしてきた、なんでもない光景に彩りを添えてくれるかもしれません。

E

“転ばぬ先の杖”～今から備える終活～



弁護士 阪神クラブ会員
武本 夕香子氏

プロフィール

ITC-J歴9年 弁護士 京都大学大学院法学研究科修士課程（法学修士）修了 平成26年度兵庫県弁護士会会長 平成26年度、27年度日弁連理事
趣味は「食べ歩き」、好きなアイドルは「ももいろクローバーZ」「嵐」、好きなスポーツは、「テニス・水泳」で、好きなアニメは「攻殻機動隊」「涼宮ハルヒの憂鬱」「鬼滅の刃」です。

セッション内容

人生の終末は誰しも避けられません。

貴方が、或いは、大切な家族が、突然人生の終末を迎えてしまったら、残された家族はどうなるのでしょうか。愛する家族を失っただけでも大変なのに、その後、家族同士が、肉親同士が財産の相続で揉めるということは大変辛いことで、できれば避けたいものです。

「そんなことはわかっています。でも、家族と相続の話をするのははばかられます。」「何から始めたらいいかわからない。」そういう方は多いと思います。まずは、基本的な知識を身につけておくことが大切だと思います。

貴方も「転ばぬ先の杖」として最低限の知識を学んでみませんか。

10人ずつくらいのグループに分かれて実際に遺言書のモデルを作成していただき、グループごとに弁護士がその遺言書を拝見し、無効になるポイントを解説します。また他弁護士2名も参加致します。

F

Mini Workshop and Discussion on Cultural Differences in Speech and Gestures



Facilitator:
Ms. Margaret Sutherland
(元ITC国際会長)

プロフィール

ビジネス経歴：35年間の広告業、
Speakup, Coaching communication skills トレーナー
ITC歴：元ITC 国際会長(2009-11)、現在Cyber Clubと
Waverley Communication (Zoom) の重複会員

セッション内容

テクノロジーの急速な発展に伴い、同時にコロナ下で世界は一層近くなり、利便性と信頼性を備えたZoomは一般社会に浸透し、私たちのコミュニケーションの新たなツールとして生活の一部になってきました。必然的に、例えばクラブのプログラムに関しても多様性が発生し、海外の元ITCのメンバーと共に進む活動復活が可能になり、それをこの機会に、更に交流の輪を拡大し実践したいと思います。対面とOnline によるハイブリッド形式で東京を中心として、オーストラリア、ニュージーランド、シアトル、オランダを結んだかつての世界大会の教育部門の再現となることを期待しています。



Program Leader:
Ms. Kazuyo Sugitani
(イースト神戸クラブ・城北クラブ会員)

ITC-J歴：36年 元国際メンタリング委員長、イースト神戸クラブ会長 (2022-23)、城北クラブ書記 (重複会員)、Rovers (元ITC イギリスシリーズ)、Emerald City Connectors (元ITC シアトル) 会員

晩餐会エンターテインメントご案内

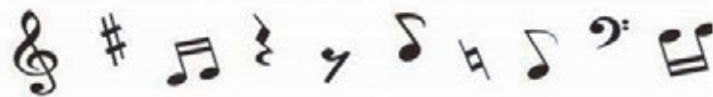
ヴァイオリンと箏

洋と和の二重奏

御木 マドカ



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学器楽科ヴァイオリン専攻卒業後、ザルツブルクモーツァルテウム音楽院にて、シャンドール・ヴェーグ氏に学ぶ。帰国後、ソロコンサートを中心に各地で演奏活動をし、近年では、ストリングクワルテット、ピアノトリオ、チェロとヴァイオリンのデュオ、管楽器とヴァイオリンとピアノのグループ『きらび』等、アンサンブル活動もしている。箏奏者の平野暁子氏との〈箏とのアンサンブル〉は、多くのコンサートで好評を得ている。



平野 暁子

東京藝術大学邦楽科（生田流箏曲専攻）に入学。在学中に ASEAN 民族音楽フェスティバルに邦楽科代表として参加しマレーシア・シンガポールにて演奏。ハワイ大学ケネディーシアターにて KOTO CONCERT に出演。

現在、宮城社大師範、森の会会員、また千葉市稲毛区や美浜区の教室で後進の指導にあたる他、東京都や千葉県の小・中学校で普及活動もしている。



ITC-J 第41期 年次大会 大会準備委員会名簿

大会準備委員長 **山口久美子**(8荊崎)
大会準備副委員長 **市橋 和子**(8東京)

委員会	委員長	委員
大会会計	八尾 和子 (8東京)	水野 玲子 (8東京)
登録	中村 洋子 (8東京)	落合友紀子 (1栄)
食事	饗場嗣祈子 (8横浜)	田中 初子 (8東京) 川井 恵子 (8横浜) 小菅めぐみ (8横浜) 黄 文葦 (8横浜) 田村 純子 (8横浜) 及川セイ子 (8花巻) 瀧 成子 (8花巻)
宿泊	武井 直子 (8東葛)	藤原 雅子 (8東葛)
会場・備品	小林 裕子 (8彩玉)	江利川富江 (8彩玉) 林 栄子 (8彩玉) 増井美恵子 (8彩玉)
デコレーション	松下 彥 (8東京)	三村 典子 (8東京)
キット・名札・リボン	萩原 貴子 (3芦屋)	赤松奈緒子 (3芦屋6平安) 山口 公子 (3芦屋) 山中 恵枝 (3芦屋) 釜田 睦子 (3しらさぎ) 奥澤 節子 (3クリスタル神戸)
儀典	井田 育代 (8東京)	布野 泰子 (7出雲) 景山 良子 (7出雲) 都間ゆかり (7出雲) 浜上 紀子 (8東京) 関 稔子 (8東京)
セーフティサービス	播磨由美子 (2甲南)	安積 恭子 (3姫路) 水野 玲子 (8東京) 八尾 和子 (8東京) 藤原 雅子 (8東葛) 武井 直子 (8東葛)
観光・広報	田中眞紀子 (8東京)	山内 昌子 (8東京) 清水 享子 (8荊崎) 藤原 真人 (8横浜) 斉木ゆかり (8横浜)
ページ	根岸 千代 (8東葛)	柴田 淑子 (1岡崎) 西島 敏子 (3淡路) 立花 典子 (3しらさぎ・クリスタル神戸) 石川美代子 (8東京) 末廣 佳香 (8東京) 林 眞美子 (8東葛) 宮崎ひろ子 (8東葛)
受付 インフォメーション	烏谷まゆみ (8荊崎)	落合友紀子 (1栄) 大原 慶子 (1岡崎) 長谷川瑞穂 (8東京) 中村 洋子 (8東京) 大島 銘子 (8東京) 小菅あけみ (8東葛) 下井美智子 (8東葛) 畑山はるみ (8荊崎) 櫻井をさみ (8荊崎) 小河原芳枝 (8彩玉) 永井 眞澄 (8彩玉) 中島 千尋 (8彩玉)
写真	沖田 道子 (4ひろしま)	米門 公子 (4ひろしま) 青木 和恵 (4安芸) 林 栄子 (8彩玉)
エンターテインメント	関原 暁子 (8東京)	櫻井をさみ (8荊崎) 清水 享子 (8荊崎)



7月4日(火) 東京観光と夕食のご案内

A コース

【国宝 迎賓館赤坂離宮を訪ね、屋形船「船清」へ】

世界各国の国王、大統領などをお迎えし、外交活動の華やかな舞台となる迎賓館。日本では唯一のネオ・バロック様式による宮殿建築物で 2009 年に国宝に指定されました。明治の西洋宮殿から江戸の風情を今に伝える屋形船「船清」へ。

A-1 コースは、13時出発でゆっくりと見学。

A-2 コースは、14時出発で遠方の方でもご参加いただけます。

A-1	A-2	
13:00	14:00	ホテルイースト 21 東京 出発
14:00	15:00	国宝・迎賓館赤坂離宮 見学
17:30		屋形船「船清」
21:00		ホテルイースト 21 東京 到着



参加費(お一人様) 16,500 円
(入館料・夕食・送迎バス代を含む)
◇ 定員 : A-1 A-2 各 40 名 ◇

B コース

【江戸の昔の船遊びが今によみがえる屋形船「船清」】

東海道一番目の宿場・品川。粋な船遊び屋形船「船清」で、名物の天婦羅をメインにした和食のコースをお召し上がりください。東京湾夜景の名所お台場に停泊後、隅田川を上り、永代橋付近からスカイツリーをご覧ください。

16:30	ホテルイースト 21 東京 出発
17:30	屋形船「船清」
20:15	出発 ~ 東京タワーなどの夜景を見ながら ~
21:00	ホテルイースト 21 東京 到着



参加費(お一人様) 15,000 円
(夕食・送迎バス代を含む)
◇ 定員 : 25 名 ◇

東京観光と夕食の申込みについて

- *申し込み期間：2023年5月2日(火)～5月20日(土)
- *申し込み方法：各人またはグループで、メールまたはQRコードからお申し込みください。迎賓館の予約が確定しましたら、申し込み先着順にてご参加を決定し、お知らせをいたします。

メールでの申し込み先

観光委員会 田中真紀子 makiko.yukkurito36@gmail.com
清水享子 motoban0625@yahoo.co.jp

- *宛先：上記2名の両アドレス宛に、必要事項を記載の上送信してください。
- *必要事項：カウンスル・クラブ・氏名・携帯番号・コース(A-1、A-2、B)を選択して明記してください。

QRコードでの申し込み

- *スマートフォンにて読み込んでから質問事項に従って回答してください。



QRコード

- *メール、QRコードどちらも一度に5名まで申し込みができます。
- *参加費の振込期日：ご参加決定後にご連絡いたします。
- *キャンセル・変更：6月15日(木)までをお願いいたします。それ以降の返金はできません。
- *お問い合わせ先：観光・広報委員会委員長 田中真紀子 makiko.yukkurito36@gmail.com
- ・迎賓館の都合により休館となった場合は『庭園美術館』見学に変更いたします。
- ・コロナ感染及び気象状況により変更または中止する場合がございます。ご了承ください。

会場周辺の観光スポット

—いずれもホテルからタクシーで15分以内—



清澄庭園 9:00～17:00
下総関宿藩主久世氏の下屋敷跡
岩崎弥太郎により完成された
「回遊式築山林泉庭園」



深川江戸資料館 9:30～17:00
江戸時代の深川の町並みを実物大で再現。庶民の一日の暮らしぶりを音響と照明で演出



すみだ北斎美術館 9:30～17:30
葛飾北斎と門人の作品、北斎と「すみだ」の関わりを紹介。北斎のアトリエ再現模型では「動く北斎」も展示

公式ホームページで入場前売券購入が必要な観光

■ 東京ディズニーリゾート ■
ホテルからの往復シャトルバスあり(宿泊者のみ、定員制、ホテルホームページより要予約)

■ チームラボプラネッツ Tokyo ■ (新豊洲駅)
アートと一体となって楽しむことができる体験型ミュージアム。

東京からのエクスカッション

■ 鎌倉 ■
鎌倉文学館
報国寺
一条恵観山荘



■ 箱根 ■
ポーラ美術館
ガラスの森美術館
飛龍の滝



■ 日光 ■
二荒山神社
田母沢御用邸
イタリア・英国大使館別荘記念公園



ITC-J第41期年次大会申込要領

【ITC-J第41期年次大会申込書について】

1. 下記の役職のみ記載する。
ITC-J役員・ITC-J委員長・元ITC-J会長・元日本リージョン会長
各レベル会長・クラブITC-J派遣員、(代理)
2. 重複会員はITC-J会費を納めているクラブで申込み登録する。
3. 欠席者は、欠席協力金を支払う。
4. CMTのみ出席の会員は、登録費は不要、欠席協力金を支払う。
5. 教育セッションは第1、第2希望を記入する。会場の状況により希望に沿えない場合もある。
6. 昼食は、7月5日(亀井升本のお弁当)。6日(今半のお弁当)。
7. 晩餐会に出席の方で食物アレルギーのある方は、饗場嗣祈子食事委員長に事前に連絡する。
8. ゲスト登録費：3,000円(晩餐会のみ出席の場合、登録費不要)
9. 登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金はクラブで纏め、大会会計へ送金する。

登録費	7月5日(水)・7月6日(木)	10,000円
昼食費	7月5日(水)・7月6日(木)	2,500円
晩餐会費	7月5日(水)	12,000円
欠席協力金		2,000円

【ホテル宿泊申込書について】

1. 「ホテル宿泊申込書」に部屋タイプを部屋記号で記入する。
シングル申し込みが多いと予測され、希望に沿えないこともある。

部屋タイプ	シングル	ツイン
部屋記号	S1	T2
料金(1名)	12,600円	9,350円

*1泊朝食付(税・サービス料込)

2. 変更・キャンセル
5月21日(日)まで：クラブの登録担当者が宿泊委員長にメールで連絡する。
5月22日(月)以降：申込者が各自、直接ホテルに電話で連絡する。
3. 宿泊費は、各自支払う。
4. チェックイン15:00、チェックアウト11:00
5. キャンセルの場合：下記キャンセル料を各自支払う。
前日：50%、当日：80%、不泊：100%

【登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金・宿泊の申込期日】

第1回締切日 2023年4月8日(土) 最終締切日 2023年5月21日(日)

【登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金の送金期日】

2023年5月22日(月)～5月27日(土)

※5月22日以降は取消しのみ受け付ける。

送金の際は、最終締切り時点の申込金を振り込んでください。(返金不可)

登録委員長：中村 洋子 (8東京) Eメール: yonakmu@gmail.com TEL: 03-3336-3997
宿泊委員長：武井 直子 (8東葛) Eメール: naokotakei@hotmail.com TEL: 04-7143-4539
食事委員長：饗場嗣祈子 (8横浜) Eメール: saiba-md@nifty.com TEL: 045-507-8617
大会会計：八尾 和子 (8東京) Eメール: kazuko80@kke.biglobe.ne.jp TEL: 0467-23-7668
ホテルイースト21東京：〒135-0016 東京都江東区東陽6-3-3 TEL: 03-5683-5683 (代表)

ITC-J第41期年次大会申込書(会員用)

会員名：		役職名：		
	月 日	○印	金 額(円)	申込金額(円)
出席日及び登録費	7月5日(水)		10,000	
	7月6日(木)			
昼 食 費	7月5日(水)		2,500	
	7月6日(木)		2,500	
晩 餐 会 費	7月5日(水)		12,000	
欠 席 協 力 金			2,000	
申 込 合 計 金 額				
教育セッション	7月6日(木)	第1希望()	第2希望()	

キリトリ線

ITC-J第41期年次大会申込書(ゲスト用)

紹介会員名：		<small>(フリガナ)</small> ゲスト名：		
	月 日	○印	金 額(円)	申込金額(円)
出席日及び登録費	7月5日(水)		3,000	
	7月6日(木)			
昼 食 費	7月5日(水)		2,500	
	7月6日(木)		2,500	
晩 餐 会 費	7月5日(水)		12,000	
晩餐会で紹介者とゲストの相席	希 望		申込合計金額	
教育セッション	7月6日(木)	第1希望()	第2希望()	

キリトリ線

ITC-J第41期年次大会ホテル宿泊申込書

会員名：		役職名：	
宿泊希望日	部屋タイプ	同室者名 (クラブ名)	同室者名 (クラブ名)
7月4日 (火)			
7月5日 (水)			
7月6日 (木)			

* 部屋タイプ欄には、「大会申込要領」記載の記号S1、T2 をご記入ください。

* ゲストの方は役職名の欄に「ゲスト」と記入し、お名前にフリガナをつけてください。

ITC-J第41期年次大会

会員用申込書

ITC-J第41期年次大会

ゲスト用申込書

ITC-J第41期年次大会

ホテル宿泊申込書

「元東京クラブ会員 小林 令様を偲んで」

最後にお目にかかったのは何時だったでしょうか？

いつも、優しく私達を導いて下さった大先輩とお別れは、大きな悲しみでございます。「小林様」とお呼びするよりも「令さま」とお呼びするのがふさわしいお人柄でございました。振り返れば、色々な思い出が尽きません。

阪神大震災の大災害のなか、阪神クラブ設立30周年の記念式典に第13期日本リージョン会長としてご来阪、励ましのお祝辞を頂きました。雨風のとても強い日だったのを覚えています。又、スコットランドのエディンバラの世界大会の会場だったと思いますが、私がリージョン会長をお受けするにあたり、パラメンタリアンをお願い致しましたところ、とても困った顔をされながら一年間、支えてくださいました事も忘れられない思い出です。

小林令様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

阪神クラブ 三宮 晶子

ITC-J ウェブサイト会員ログイン方法



① 下記のQRコードを読み込む



② <http://www.itcjr.jp/> クリック

会員ページへログイン

ユーザー ID : 会員番号

パスワード : 会員の姓のローマ字小文字
(例 : nihon)

編集後記

第2号を皆様にお届けいたします。コロナ禍の中でも、カウンスル会長会報告、会合報告などから平常の活動に戻りつつあることを実感し大変うれしく思いました。特集「プリズム」では少人数のカウンスル、クラブからの報告をいただき、様々な状況の中でも会員一人一人が輝いて活動する様子をお届けしました。寄稿頂いた皆様にお礼を申し上げます。

さて、今号で年次大会のご案内をしております。大会で皆様の素敵な笑顔に出会えることを念じております。

編集者：清水典子 スタッフ：遠藤玲子 下手泰子

訂正 第1号 カウンスルNo.1 錦クラブ 例会時刻 11:00～13:00 → 10:30～12:30

編集・発行：ITC-J 第41期

印刷：有限会社 米子プリント社

ITC-J 宣誓

ITC-J Pledge

我々、インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション-ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

ITC-J 声明文

Mission Statement of ITC-J

ITC-J の使命は、ITC-J の目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた成熟した社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC-J is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of Interactive Training in Communication-Japan and benefit the society by providing mature individuals.